その常識、変えてみせる。

SHIFT

第三者割当による
第8回新株予約権
を通じた資金調達について

株式会社ＳＨＩＦＴ(証券コード：3697)

2019年3月6日

0 AGENDA

1. 新株予約権の概要
2. 本新株予約権の特徴
3. 資金調達の目的と資金使途
4. M&Aの考え方
5. 新株予約権による調達の仕組み

1 新株予約権の概要

第８回新株予約権 （行使価額修正条項及び行使許可条項付）						
想定調達額	約50億円		新株予約の個数	10,000個（新株予約権1個につき100株）		
潜在株式数/希薄化率	潜在株式数1,000,000株/ 希薄化率（対議決権総数）6.79% （2019年1月22日時点の総議決権数147,266個）					
行使可能期間	約2年間 （2019年3月25日から2021年3月31日）					
行使価額	当初	4,895円	上限	なし	下限	3,916円
行使許可条項	割当先はSHIFTの許可がない限り本新株予約権の行使ができない					
SHIFTによる任意取得条件	2週間以上の事前通知により、SHIFTは残存する本新株予約権を発行価額（971円）と同額で取得することが可能					

2 本新株予約権の特徴

既存株主の皆様の利益に最大限配慮しながら、さらなる企業成長へ向けた資金を確保

1 交付株式数を固定することにより、希薄化を限定

MSワラントを採用することにより、交付株式数を固定。
株価動向に関わらず、最大交付株式数は、1,000,000株、希薄化率は6.79%と限定的

2 行使コントロール権限を持つことにより、調達額を最大化

行使許可型スキームにより、株価動向などを見極めながら、行使時期や新株予約権の量をSHIFTで一定程度コントロールが可能

3 1株当たりの価値希薄化を制限

下限行使価額を設定することにより、株価下落時の普通株式1株当たりの価値希薄化を制限。
下限行使価額は3,916円

3 資金調達の目的と資金使途

目的

潜在的に大きな市場があり、発展的成長が見込まれる魅力的なソフトウェアテスト市場

独自の理念と確立された方法論、それに基づく「ヒト」と「しくみ」を強みとして、既存グループの成長のみならず、新たな仲間を迎え入れることにより、**「無駄のないスマートな世の中」の実現**を目指し、テストのみならず**品質保証における「ワン・ストップ」サービスの提供を推進する**

優秀な人材の確保 ✖ **新たなサービス領域の拡充**

資金使途

M&Aおよび資本・業務提携に関する費用

金額： **3,366百万円** ※

さらなる成長の加速と競争優位性の向上を目指し、サービスポートフォリオの拡充を進める

財務基盤強化のための借入金返済

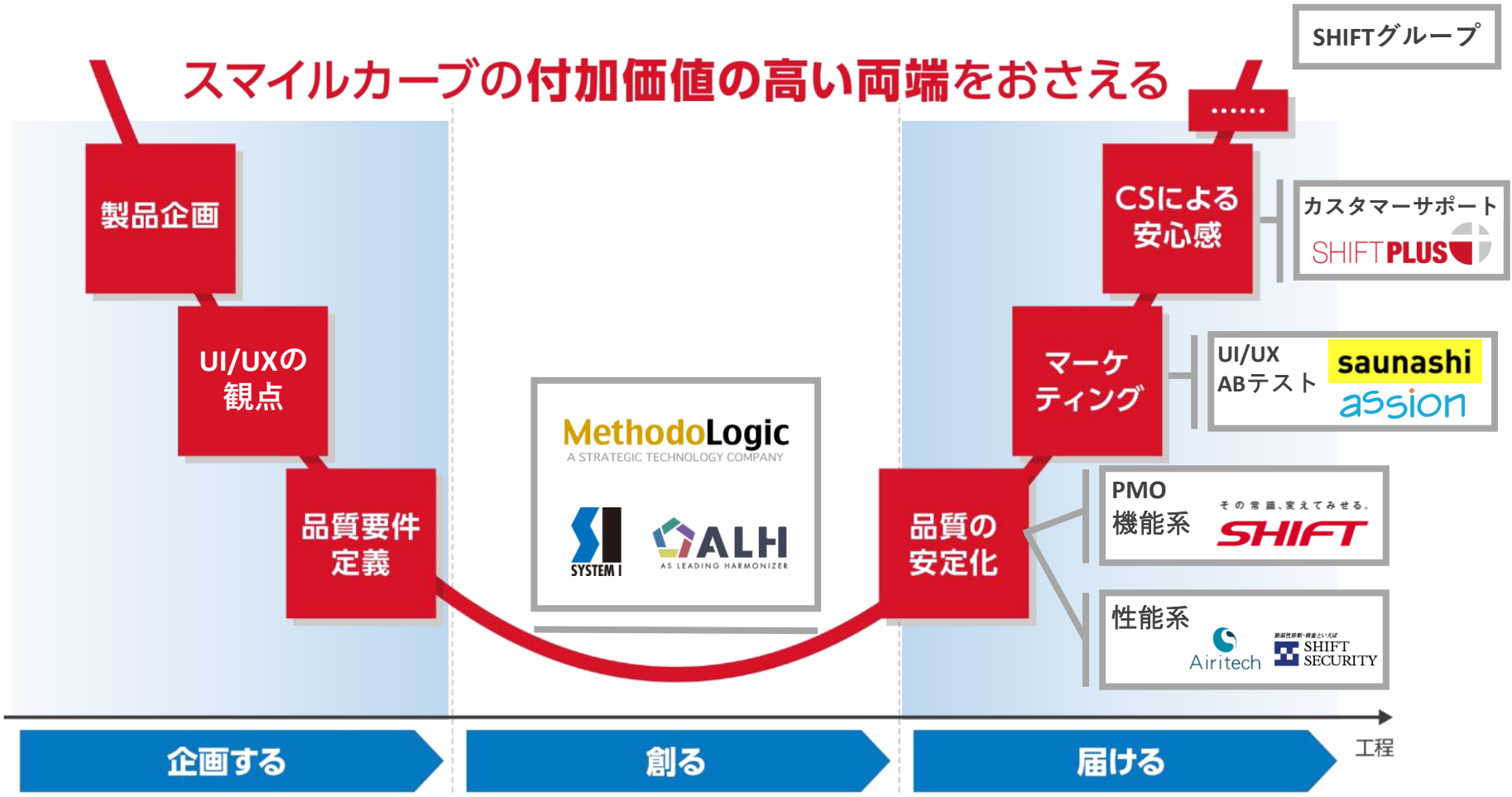
金額： **1,500百万円** ※

M&A及び資本・業務提携並びに運転資金のために調達した借入金の返済等に充当。一層の財務基盤強化をおこなう

※金額は当初行使価額換算

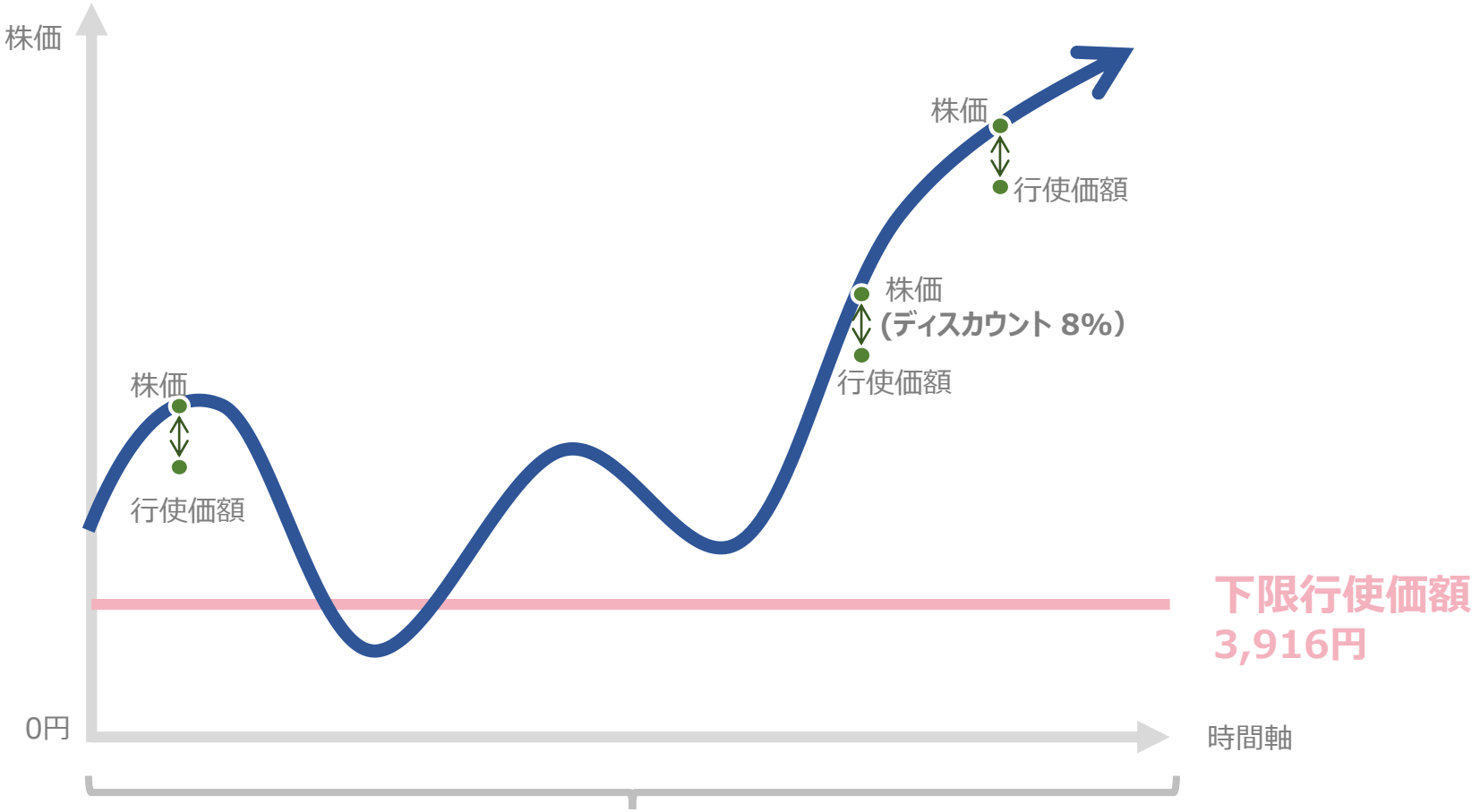
4 M&Aの考え方

スマイルカーブに沿い、グループ企業価値を向上させ サービスポートフォリオを強化するM&Aを実施



5 新株予約権による調達の仕組み

・今後の株価動向により、当初目標金額を調達ができない場合があります
・行使価額は行使請求の直前取引日の東証終値の92%に相当する金額に修正されます
・修正後の行使価額が下限行使価額を下回る場合は、行使価額は下限行使価額となります
・当社の許可がない限りは、割当先は当該新株予約権の行使を行うことはできません



（注）上記はイメージであり、当社株価が上記のとおりに推移することをお約束するものではありません